

損紙循環システム構築

定期的安定期リサイクル

製紙、回収と連携



調印した文書を取り交わす小野木常務(右)ら

印刷センターで発生する黒損や紙くず、ワンプなどの損紙を製紙工場に直接売却する損紙循環(クローズド・ループ)システムの調印式が3月28日、本社で行

われしました。システムは4月1日から実施されています。調印式には本社から小野木克之常務と佐藤純常務、売却先の日本製紙から菅羽

今回の契約では印刷センターで発生する損紙全量を日本製紙と本社間で直接売買契約を結ぶことにより、原料の長期安定的なリサイクルを図るのが目的です。既に東京紙と日本製紙の間で契約が進められています。が、地方紙では初めての取り組みとなります。

(総務広報部)

選定年制度の年齢引き下げ

満50歳以上対象に

選定年制度が拡充され、2018年3月末の退

以上まで引き下げました。通常の退職金に上乗せさ

金	円	円	円	円	円	円
30万	50万	10万	30万	10万	30万	10万

職日の6カ月前(18年3月)



社への貢献ねぎらう

定年退職者夕食会 19人が思い出語る

2016年度の定年退職者夕食会が3月31日、仙台市青葉区の仙台国際ホテルで開かれ、退任役員・退職者合わせて19人が出席。現役の本社幹部と数々の思い出を語り合いました。

一方、雅彦社長による「送別の辞」の後、加藤伊佐雄専務の乾杯で、にぎやかに歓談が始まりました。中山晴久前常務のユーモアたっぷりのあいさつに続いて、草刈順前取締役、退職者代表の寺島英弥さんが「悔いのない会社人生でした。引き続き大震災後の古里と河北新報社を見続けていきたい」と退職後の決意を披露

◆河北新報社人事(3月31日) 退職 出向(河北新報印刷) 副部長大角健一、編集局 整理部鈴木絵梨香、青森総局 社本まり

◆関連会社役員人事

◆河北新報輸送(3月21日) 監査役 佐藤純(新)▽退任

監査役 草刈順

◆河北新報印刷(3月21日) 監査役 佐藤純(新)▽退任

監査役 草刈順

◆河北アド・センター(3月21日) 社長(取締役) 中山晴久▽取締役(監査役) 東海林仁、(営業統括部長) 高澤雄▽監査役 大江秀則、菊地学(以上新)▽退任 社長

大島孝夫、取締役芳賀邦博、監査役野野明生

◆河北新報総合サービス(3月21日) 常務(取締役) 川面明美▽取締役 藤原陽(新)▽退任 取締役石川正宏

◆河北TBCカルチャーセンター(3月21日) 代表取締役 渡辺雅昭(新)▽取締役

未退職の場合には17年9月末までに文書で申し出ることが必要で、期限後の提出や撤回は認めません。年度途中の退社にも適用されません。

なく、60歳を迎える前に第二の人生を送りたいといった需要に応えるための常設型の制度です。今回の見直しに伴い、旧制度の55歳700万円、56歳300万円

え、名古屋と同額の1万2千円になりました。

大都市の宿泊料金は訪日外国人観光客の増加などで時期によっては高騰傾向にあります。緊急の取材出張

器科部 OIO 働局 産業衛 など 専門

黒澤 卒、同 了。 産業衛 東北 黒澤

中里 表取締役 野芳樹 23日) 社 常務 役 東海 社長 本 取締役中